

東日本における食文化の調査報告

私の趣味は旅行です。では「旅行の目的は?」と聞かれたら「異文化体験」とか「普段見れない景色を見る」とかありますが、やっぱり

めし 飯っ!!

というわけで、今回は機会があれば是非食べて欲しいおすすめ現地グルメ(東日本編)を紹介したいと思います。保護者の方々もお試しあれ。

- ①札幌と言えば、、、ラーメン!ジンギスカン!スープカレー!ではなく、「みよしの」の餃子カレーがおすすめです。カレーライスの上に餃子がのっているだけなんですけど、この組み合わせがとて素晴らしい!!ちなみに札幌在住の友達に「みよしのに行きたい!」って言うと、「そこは観光客が行く場所じゃない!!」と怒られます。
- ②焼き鳥と言えば、、、豚肉!?そう、函館では焼き鳥というと豚肉なんです。もちろん鶏肉の焼き鳥もありますが、やっぱりハセガワストアの焼き鳥は豚肉に限る!焼き鳥弁当最高!!(豚肉だけど)
- ③青森でラーメンと言ったら、「味噌バター牛乳カレーラーメン」。味噌ラーメンだけどカレー味で牛乳も入っていて、バターが乗っている。ただ食えるカリカリ梅をボリボリ食って口の中を酸っぱくして食べると、カオス。味が喧嘩しちゃうのでは?と思ったら大間違い!複雑に絡み合って調和しています。
- ④山形でかき氷と言えば、いちごシロップに酢醤油(酢だまり)をかけて食べる!これが意外や意外。さっぱりしてやみつきになります。今年の夏はかき氷にポン酢をかけて食べるのがブームになる!?
- ⑤まんじゅうと言えば、、、天ぷら。猪苗代湖の強清水ではまんじゅうは天ぷら。醤油を付けて食べると、美味しいの美味くないのって(美味ってことです)。ちなみにかつて、アメリカのオーランドでチーズケーキの天ぷらを食べましたが、それも意外に美味かったです。アメリカ人の感覚はおかしいですね。
- ⑥秋田は何でも寒天で固めてしまう。最たる物が「ポテトサラダの寒天」。しかも甘い!!さらに玉子も寒天にしてしまう。卵焼きで良いじゃん!って思いながら食べる玉子寒天、お試しあれ。
- ⑦昭和世代には懐かしの鯨を食べられるのは、宮城県の大鹿半島、鮎川。鯨はクセがあって苦手!と言う人がいますが、処理をちゃんとすれば、全然クセがない。刺身はおいしいし、竜田揚げも下味がちゃんとしていたらめっちゃおいしい。ちなみに沖縄ではヒートゥーそばって言うのがあります。ヒートゥーとは、鯨のお仲間、イルカちゃん。その肉が沖縄そばの具になっているのですが、それはそれは臭くてまずくて食べたもんじゃない。可愛いイルカちゃんは生ゴミの臭いで不味い。ちなみに、オーストラリアで食べたカンガルーも可愛いけど臭くて不味かった。ワニは可愛くないから美味しかった。

食べ物はその土地の環境に大きく影響されるものです。だからこそ、その土地のものを食べることで、いろいろ感じられると思うのです。皆さんは大学に行ったら、自由になる時間がたくさんできると思います。思い切って出かけて見ましょう。そしていろいろ見て食べて、日本、そして世界を知ってくださいね。

p.s.今では普通になっている「冷やし中華にマヨネーズ」は相馬では昔から普通に食べられていました。しかし、学生時代(30年前!?)に神奈川出身の友達は「冷やし中華にマヨネーズはおかしい!そんなの絶対に不味い!」と言われました。その後、彼はマヨラーになりました。相馬の食文化はマヨネーズ!!

(3組担任 伏見裕樹)





の行事予定

期末考査で仮評定が出ます。しっかりと結果を残そう。

4日(土)	英検1次
14日(火)	志望理由書作成(リポート)
11日(土)	土曜課外
18日(土)	土曜課外
20日(月)~	考査1週間前
27日(月)~30日(木)	第1学期期末考査 ※仮評定が出ます



ひきつづき
コロナ感染拡大防止に
協力してください。

部活動の最後の大会や
各種模試があり、皆さん
にとって大切な時期で
す。1人1人の心がけが
大切になってきていま
す。昼食時の「**自席で
黙食**」は継続。

3学年NEWS!

探究活動成果発表会がありました

5月27日(木)の7校時に、講堂で探究活動成果発表会がありました。2学年の総合的な探究の時間(普通科)や課題研究(理数科)で取り組んでいた探究活動について、各クラスの代表班がそれぞれの探究活動の成果を発表しました。3月にあった福島県沖地震の影響で実施日が遅れてしまいましたが、どの班も地域の方へのインタビューやアンケート結果などを使いながら、様々な視点で地域についての理解や関心を深めることができました。



発表テーマ

- 1組「処理水から復興を生む」(清水ひろか、川崎大和、高木さくら、富田紗那、引地賢輝)
- 2組「相馬市の今までの子育て支援とこれからの子育て支援」(奥山礼菜、西畑弥宮、森愛音)
- 3組「相双地区の医療の変化」(愛澤茉莉奈、漆山幸、高橋励奈、保科楓夏)
- 4組「色彩と脳の関係」(鈴木莉子、田中愛梨、野村和輝)

とうきょう総文2022に出展する美術部3人の横断幕ができました!

美術部の荒しおりさん、水戸希々嘉さん(ともに1組)、鈴木綾さん(2組)の作品が、7月31日(日)から行われる「とうきょう総文2022」に出展されます。美術・工芸部門の作品は上野公園内にある東京都美術館に展示されます。県代表として3作品が全国総文祭に出展されることを祝して、本校の校門前に横断幕が掲示されました。



横断幕の前で記念写真

【保護者の方へ】

①進路について、お子様と会話をしてください

「本人が行きたいところに行かせたい」と思う気持ちはよくわかりますが、ぜひ進路についての話をしてください。やりたいことや学びたいことと選んだ進路が本当に合っているのか、成績はどうなのか、費用の面で無理はないのか、お子様だけで決めかねることもたくさんあります。彼らの力が最大限に発揮されるよう、ご家庭で様々なサポートをお願いいたします。何か困ったことや心配なことがあれば、ぜひ学校にご相談ください。

②保護者向け進路ガイダンスを実施予定です

7月5日(火)18:00以降(詳細な時間は未定です)に、保護者の方向けの進路ガイダンスを実施いたします。当日は河合塾より講師の先生をお招きし、進路全般についてのお話をいただく予定となっておりますので、ぜひご参加願います。詳細はまた後日ご連絡申し上げます。